



関わる価値へのシフトが社員のモチベーションを上げていく

- 21世紀は「お金」よりも「顧客や地域から感謝されるへ」
「家族から良い仕事をしているね」(FS)
=成熟化した日本では、ほとんどの企業の経済成長は数%台の成長へ
仕事のやりがいは、必然的に「関わる価値」が社員のモチベーションの源泉に！
- 社員へ給与だけじゃない「関われる価値」のワクワク感を体感させることの大切さ
=ESは大きく変化する



プロボノのすすめ = 価値が生まれる現場に身を置くことが大切



「関わる価値」という資産をもたらす 人が活躍する時代

・社員のESにも組織の活性化にも重要な「関わる価値」づくりをつくり出すことができる社員が活躍する時代へ

難易度・希少度



マニュアルでこなせる仕事、機械でできる仕事が増え、どんどん人間が関わる仕事がなくなってしまう。
＝ローコスト・ローオペレーション



残っているのは創造・創発性を重視する。不確定性の高いプロジェクトの仕事に動くことが大切。
＝人間しかできない仕事
＝人間性尊重経営（ES）の時代へ

・IQよりSQの時代へ

PDCAを回す計画性のマネジメントから創発のマネジメントへ

SQ＝つながり・クリエイティブ力

「目的共有・結束感・モチベーション・共感・自信・コミット」を促す力

「計画・調整・巻き込み・フォロー」などの行動と見極め力

＝粘り強さ、不満解決、ファシリテート、理不尽への対応

イノベティブ人財

・知の深化

・知の探索

**の両方ができる社員
がリーダーの時代**



大川印刷行動変容プログラム

～会社の寿命よりも個人のキャリアが長い時代へ～

ねらい: 新たな市場へ革新的なビジネスモデルをつくり出したり、複雑な問題に対処するためには、部門の壁を超えて組織をスムーズに動かすことが必要です。

そのためには組織の社会性を高めることが大切。

そこには、一人ひとりのつながりを意識した行動変容が必要とされます。このプログラムでは、時代がスピーディーに大きく移り変わり、市場が複雑で社会性を必要とする中、企業と個人の新たなかかわりをデザインを目指していきます。企業は新たなビジネスモデルを求め、動いていく必要があります。

難易度・希少度

↑高

↓低

創発する・
発明する

つながりを
つくる

売る

生産する

栽培する

狩りをする

物を持ち上げる



大川印刷行動変容プログラム

～会社の寿命よりも個人のキャリアが長い時代へ～

そして個人も、新たなビジネスモデルの当事者となって関わり、オーナーシップを持って、自分自身が取り組んでいくことが必要とされます。自分自身のキャリア設計を個人のビジネスモデルとして描くことが必要なのです。会社の戦略に従って、個人のキャリアを合わせていた時代から、個人のキャリアから、会社の戦略を考える時代へ移り変わっています。そこに目を向けない社員は、コストとしての人材に甘んじることを自ら選んで行動しているようなものです。

時代の変化に合わせ、適応する能力を勝ち取るためにも、今までキャリアを描くという能力を身につけることに目を向けてこなかった現実を直視することがまず最初的一步、そして会社と個人の関わりについて、私たち自身が自己変容を前提として私たちが当事者意識を持って会社のビジネスモデルの刷新、そして個人はキャリア形成について描いていくことが新しい時代の新しい働き方を目指し、実践していくことが狙いです。



イノベーション人財変容プログラム 7ステップ

STEP I : 個人のパーソナルビジネスモデルをつくってみよう

STEP II : 仕事の先にある世界を落とし込んでみよう。《360° 評価》

STEP III : なぜ働くのか？会社とあなた自身の関わり再点検
～パーソナルビジネスモデル Vol.2～

STEP IV : 仕事のパフォーマンスが向上しない原因をつきとめよう!! 《協働ダイアログ》

STEP V : 自己変容を促すMBCシート書き込み・発表

STEP VI : フィードバックループを回そう

STEP VII : パーソナルビジネスモデルから、会社のビジネスモデルへ